

国際文化ゼミナール (その4)

2単位 4年(後期)

桂 修治・教授 / 人間文化学科

【授業目的】 このゼミナールでは、日本とヨーロッパの文化や社会について、その共通点や相違点、および関係についてともに考えます。そこでは、表面に現れた現象だけを単純に比較するのではなく、その現象の背景となっている社会のありさまを掘り下げて、構造的に理解することをめざします。

【授業概要】 日本と現代ヨーロッパの社会文化研究。テーマ領域としては学校教育、環境保護、スポーツ、音楽などが考えられますが、テーマはできる限り受講者諸君の希望に応じます。外国の文化を知る上で最も良い方法の一つは、直接、相手の国の人々と交流することでしょう。桂はドイツの学校や各種団体と交流を続けていますが、参加者からの希望があれば、学生諸君にも、種々のかたちでこのような交流に参加する機会を提供します。インターネットによる交流、さらにできれば現地での交流など(交流は英語を媒介語として行なうことができます)。

【キーワード】 卒業研究につながるゼミナール、比較文化的関心を深める

【履修上の注意】 ヨーロッパへの関心、比較文化的な関心を持つ受講者を歓迎します。

【到達目標】 ヨーロッパの社会や文化における種々の現象を、具体的かつ構造的に理解するアプローチを身につける。

【授業計画】 3年次では、いくつかのテーマに基づいて基本図書を講読し、ディスカッションを行います。4年次では、各自が選択したテーマについての研究を深めます。

【成績評価】 ゼミナールへの積極的参加の度合いによって総合的に評価します。

【再試験】 なし

【教科書】 ゼミナールで選択するテーマに応じて指定します。

【WEB 頁】 <http://www.ias.tokushima-u.ac.jp/kokusai-b/>

【授業コンテンツ】 <http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=218663>

【連絡先】

⇒ 桂 (2308, 0886-656-7136, katsura@ias.tokushima-u.ac.jp) MAIL (オフィス
アワー: 木曜3・4時限, 金曜5・6時限)

【備考】 18年度後期。